

## 《化学専攻 博士課程後期》

令和8年度4月入学生を募集する専修部門と主指導教員及び主な研究内容

専修部門	主指導教員	主な研究内容
物質機能化学	未定	—
構造物理化学	教授 博士(学術) 勝本 之晶	高分子物理化学・分子分光学に関する研究
有機生物化学	教授 博士(理学) 塩路 幸生	有機小分子による生体への刺激に関する研究
	教授 博士(工学) 松原 公紀	有機金属錯体を用いた有機・高分子合成に関する研究
機能生物化学	教授 博士(医学) 倉岡 功	細胞・遺伝子・タンパク質の化学
ナノ化学	教授 博士(工学) 林田 修	ナノ分子による生体機能化学と超分子化学に関する研究
化学教育学	教授 博士(学術) 松岡 雅忠	理科(化学)実験教材の開発研究

授業科目、単位、担当者及び履修方法、主な研究内容(令和7年度現在)

※令和7年度開講科目は、シラバス(授業内容含む)をWebで公開しております。「電子シラバス 福岡大学」で検索の上、参照ください。

### 研究指導科目

専修部門	授業科目	単位数	担当者	主な研究内容
物質機能化学	(第1年次) 物質機能化学特別研究I 物質機能化学特別研究II (第2年次)	2 2	未定	—
	物質機能化学特別研究III 物質機能化学特別研究IV (第3年次)	2 2		
	物質機能化学特別研究V 物質機能化学特別研究VI	2 2		
構造物理化学	(第1年次) 構造物理化学特別研究I 構造物理化学特別研究II (第2年次)	2 2	教授 博士(学術) 勝本 之晶	高分子物理化学・分子分光学に関する研究
	構造物理化学特別研究III 構造物理化学特別研究IV (第3年次)	2 2		
	構造物理化学特別研究V 構造物理化学特別研究VI	2 2		
有機生物化学	(第1年次) 有機生物化学特別研究I 有機生物化学特別研究II (第2年次)	2 2	教授 博士(理学) 塩路 幸生 教授 博士(工学) 松原 公紀	有機小分子による生体への刺激に関する研究 有機金属錯体を用いた有機・高分子合成に関する研究
	有機生物化学特別研究III 有機生物化学特別研究IV (第3年次)	2 2		
	有機生物化学特別研究V 有機生物化学特別研究VI	2 2		

機能生物化学	(第1年次) 機能生物化学特別研究 I 機能生物化学特別研究 II (第2年次)	2 2	教 授 博士(医学) 倉岡 功	細胞・遺伝子・タンパク質の化学
	機能生物化学特別研究 III 機能生物化学特別研究 IV (第3年次)	2 2		
	機能生物化学特別研究 V 機能生物化学特別研究 VI	2 2		
	(第1年次) ナノ化学特別研究 I ナノ化学特別研究 II (第2年次)	2 2		
	ナノ化学特別研究 III ナノ化学特別研究 IV (第3年次)	2 2		
	ナノ化学特別研究 V ナノ化学特別研究 VI	2 2		

#### 特修科目

部 門	授 業 科 目	単位数	部 門	授 業 科 目	単位数
非 専 修	物質機能化学特修講義 I	1	非 専 修	有機生物化学特修講義 II	1
	物質機能化学特修講義 II	1		機能生物化学特修講義 I	1
	構造物理化学特修講義 I	1		機能生物化学特修講義 II	1
	構造物理化学特修講義 II	1		ナノ化学特修講義	1
	有機生物化学特修講義 I	1		科学教育学特修講義	1

- 1 学生は、研究指導科目のうちから 1 専修部門を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- 2 学生は、専修科目担当者のうちの 1 人を主指導教員とし、専修科目及び学位論文の作成、その他研究一般についてその指導を受けるものとする。
- 3 前項のほか、学生は、主指導教員が定めた副指導教員の指導も受けるものとする。
- 4 学生の標準修業年限は 3 年とし、所定の授業科目のうちから、研究指導科目 12 単位、特修科目 4 単位以上、合計 16 単位以上を修得しなければならない。
- 5 前項の規定にかかわらず、優れた研究業績を上げた学生については、1 年以上在学し、かつ、当該学生の在学期間に応じた所定の研究指導科目の単位数及び特修科目 4 単位以上を修得すれば足りるものとする。
- 6 主指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻又は研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
- 7 学生は、主指導教員を主査として、専修科目について博士の学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。